

NEWS RELEASE



【報道関係各位】

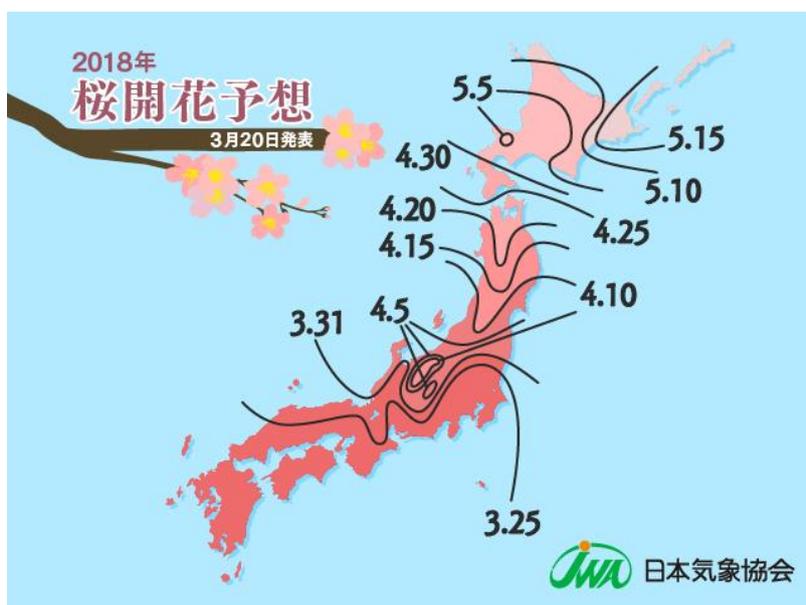
2018年3月20日
一般財団法人 日本気象協会

2018年桜開花予想(第5回) ～九州から関東で続々と開花！ 今週末はお花見が楽しめそう～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、日本全国92地点の桜（標本木 [ソメイヨシノほか] 53地点、自治体・公園など36地点、および日本三大桜3地点）の開花予想日（第5回）を2018年3月20日（火）に発表します。

- ◆15日に開花した高知は19日に満開！ 全国で満開の最も早い記録！
- ◆東京は17日、福岡、名古屋、横浜は19日、和歌山では20日開花！大阪では21日に開花を予想。
- ◆九州から関東では今週末から来週末には見ごろを迎えそう！

■2018年桜開花予想前線図



■開花と満開の傾向

桜前線は3月15日に高知からスタートし、翌日16日に宮崎や愛媛県宇和島、宿毛で開花した後、17日には長崎、熊本、鹿児島、東京で開花しました。19日までに九州から関東にかけて続々と開花のたよりが届いています。九州から関東では、平年に比べ4日から1週間ほど早く開花したところが多く、特に東京と鹿児島では平年より9日も早く開花しました。

これから開花するところでも、予想開花日は平年に比べ3日から1週間ほど早いところが多いでしょう。九州から関東でまだ咲いていないところも今週末までには開花し、4月上旬には北陸や長野県、東北部で開花するでしょう。4月中旬以降は東北北部で開花し、4月末には桜前線が津軽海峡を越え、大型連休前半に函館で開花する見込みです。

この冬（12月～2月）は全国的に厳しい寒さとなり、休眠打破（※）が順調に進みました。さらに、3月に入ってから気温が平年を上回る日が多かったため、つぼみの生長が早まり、九州から関東では昨年より1週間から2週間以上も早く開花したところが多くなっています。特に鹿児島では昨年より19日早く開花しました。今週木曜日（22日）ごろまでは全国的に天気がぐずつき、暖かさはひと休みしますが、週末から天気が回復し、暖かさが戻るでしょう。その後も4月半ばにかけて西・東日本では気温が平年より高いと予想され、桜前線は順調に北上する見込みです。

満開日は、開花からおおよそ1週間後となるところが多いのですが、今年の高知では開花から4日後の3月19日に満開となりました。これは、1953年の統計開始以来、全国でも最も早い記録となりました。九州から関東では、今週末から3月最終週には満開となるところが多く、平年より3日から1週間ほど早い見込みです。北陸、長野、東北部は4月上旬、東北北部では4月下旬、北海道でも5月中旬までに満開になるところが多いでしょう。



■日本気象協会 長期予報（気温）

気温	4月前半まで	4月後半	5月	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	平年並みか高い	平年並みか高い	平年並みか高い	西・東日本では4月前半にかけて平年より高く、4月後半は平年並みでしょう。北日本では3月下旬から5月にかけて平年並みか高い予想です。
東日本	高い	平年並み	---	
西日本	高い	平年並み	---	

※休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

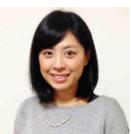
■2018年 桜の予想開花日・満開日（主な地点）

	地点	予想開花日	平年開花日	昨年開花日 (2017年)	予想満開日	平年満開日	昨年満開日 (2017年)
福岡県	福岡市	(3月19日)	3月23日	3月25日	3月27日	4月1日	4月5日
香川県	高松市	3月23日	3月28日	4月2日	3月29日	4月5日	4月8日
広島県	広島市	3月23日	3月27日	3月27日	3月31日	4月4日	4月7日
大阪府	大阪市	3月21日	3月28日	3月30日	3月30日	4月5日	4月6日
愛知県	名古屋市	(3月19日)	3月26日	3月28日	3月29日	4月3日	4月6日
東京都	千代田区	(3月17日)	3月26日	3月21日	3月24日	4月3日	4月2日
長野県	長野市	4月7日	4月13日	4月14日	4月12日	4月17日	4月17日
富山県	富山市	3月30日	4月5日	4月5日	4月3日	4月10日	4月8日
新潟県	新潟市	4月8日	4月9日	4月8日	4月12日	4月14日	4月13日
宮城県	仙台市	4月6日	4月11日	4月7日	4月12日	4月16日	4月13日
北海道	札幌市	5月1日	5月3日	4月28日	5月5日	5月7日	5月3日

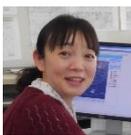
※予想開花日、予想満開日の（ ）はすでに開花や満開になった地点です。

全92地点の桜（標本木〔ソメイヨシノほか〕53地点、自治体・公園など36地点、日本三大桜3地点）の予想開花日・予想満開日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじゅーピー）』桜の開花予想ページ（<https://tenki.jp/sakura/expectation/>）にて公開しています。

■各地の気象予報士コメント

	日本気象協会 九州支社（松井 渉） 九州の各地で次々と桜の開花が観測されています。今週は雨や北から流れ込む冷たい空気の影響で、やや気温が低い日が多くなる見込みです。このため、比較的ゆっくりと花が開いていきますが、来週には見頃を迎えるところが多くなりそうです。
	日本気象協会 四国支店（川越 絵里子） 全国トップを切って開花した高知の桜は、記録的な早さできのう満開を迎えています。その他各地からも開花のたよりが届き、高松や徳島でも緑のつぼみからピンク色がのぞきはじめ、今週中には開花となりそうです。今月中には各地とも見ごろを迎えますのでお花見の計画はお早めに♪
	日本気象協会 中国支店（筒井 幸雄） 中国地方は、この先も寒の戻りが予想されるため、桜の開花は前回の発表に比べてやや遅くなる見込みです。それでも、桜前線は週末にかけて山陽に上陸し、今月27日ごろには山陰へと北上するでしょう。早いところでは、今月の終わりごろには満開になる見込みです。
	日本気象協会 関西支社（真田 知世） 桜の花芽は先週の暖かさで一気に生長してきました。花びらも見え始めていて、開花まであと少しのところまでできています。ただ今週、日中の気温は平年を下回る日が多いため、開花の一步がなかなか踏み出せなさそうです。それでも、今週はぼちぼちと開花のたよりが届く見込みです。



	<p>日本気象協会 中部支社 (菅野 彰太)</p> <p>今週の東海地方は、はじめ雨や曇りの日が続きますが、これまでの暖かさで開花のたよりが続々と届いています。来週には、平野部で満開になるところが多いでしょう。平年より早い桜シーズン到来に合わせて、花見の計画もお早めに。</p>
	<p>日本気象協会 本社 (秋田 純佳)</p> <p>東京と横浜で開花しましたが、今週は春の歩みが一旦足踏みしそうです。しかし、週末からは天気が回復し、暖かさが戻るでしょう。そのため、関東地方の平野部では週末までに開花するところが多くなる見込みです。今週末は好天に恵まれ、東京や横浜をはじめお花見日和となりそうです。</p>
	<p>日本気象協会 長野支店 (瀧中 弘樹)</p> <p>先週は気温が高く、まさに桜が咲く頃の気温になった日が多くありました。一転、今週は寒の戻りとなり、真冬を思わせる気温の日もあり、つぼみのほころびも少し足踏みしました。それでも、この後の雨が催花雨(さいかう※)となり、県内の桜は、平年より5日ほど早く開花するでしょう。 ※催花雨：春雨。花の咲き出す所に降る雨のこと。</p>
	<p>日本気象協会 北陸支店 (瀬山 滋)</p> <p>先週は富山・福井などで、3日連続で最高気温が20度を超え、花芽の生長が促進されました。今週は曇りや雨の日が多く、気温も平年を下回る日もありそうです。花芽の生長のスピードは落ちつきませんが、開花日は平年より早い予想です。</p>
	<p>日本気象協会 新潟支店 (今井 梢)</p> <p>桜も戸惑うような寒暖の差が大きい新潟県内ですが、この先4月はじめにかけて気温は平年並みか高くなる見込みです。まだ寒の戻りはありますが、時折の暖かい陽気に後押しされて桜も順調に花芽を膨らませ、平年よりやや早い開花となるでしょう。</p>
	<p>日本気象協会 東北支社 (佐藤 理恵子)</p> <p>仙台では14日、15日と最高気温が4月上旬から中旬並みの気温になり、16日に梅が開花しました。東北地方では、4月に一時的に強い寒気が流れ込む予想です。桜の花芽の生長は一旦足踏みしそうですが、開花日は平年並みか平年より早いところが多い予想です。</p>
	<p>日本気象協会 北海道支社 (持田 浩)</p> <p>太陽に照らされた雪のまぶしさに春への歩みが感じられる北海道です。向こう一カ月も気温は引き続き平年より高く経過しそうです。桜の開花は前回の予想と大きな変化はなく、平年より2日前後早い開花となる場所が多いでしょう。桜前線は4月末には北海道へと上陸しそうです。</p>

日本気象協会では日本全国89地点の桜(ソメイヨシノほか)の開花予想以外にも、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」(みはるたきざくら：ベニシダレザクラ)、山梨県の「山高神代桜」(やまたかじんだいさくら：エドヒガンザクラ)、岐阜県の「根尾谷淡墨桜」(ねおだにうすずみざくら：エドヒガンザクラ)の開花予想を「tenki.jp」にて公開しています。

【言葉の説明】

平年：1981～2010年の平均値

開花日：標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日(気象庁の観測基準と同じ)

満開日：標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日(気象庁の観測基準と同じ)

以上